

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	担当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	
		決裁期日	平成 2 9 年 月 日
名 称	平成 2 9 年度社会教育委員兼公民館運営審議会委員会議（第 3 回）		
日 時	平成 2 9 年 1 0 月 1 1 日（水） 1 8 時 0 0 分～ 1 9 時 4 0 分		
場 所	社会教育総合センター 大集会室		
出席者	委員 1 3 名 小山田、田端、塚澤、仲島、大西、菊池、和田、福本、中澤、 稲毛、木津、浅田、濱口 事務局 9 名 教育長、教育振興課長、社会教育班主幹、北川主査、飯村主査、 谷主査、小田島主事、管野主事、轟木主事		
内 容	<p>教育振興課長 進行</p> <p>教育長挨拶：本日は会議にご出席頂きありがとうございます。小学生の英語教育については高学年が対象となっておりますが、中学年についても実施することとなり、社会教育事業をどのように組み合わせていくか新たな考え方を待たなければなりません。11月には予算編成が始まり、社会教育委員の皆さんにもそのような視点で検討いただきご意見をいただくとありがたいです。本日の会議も皆さんの忌憚りの無い意見をよろしくお願ひいたします。</p> <p>稲毛委員長：夜分ご出席ありがとうございます。10月以降の事業が多く120周年関連イベントも含めできるだけ出席したいと思います。また西小コミュニティスクールもまだわからないことがありますが行っていきたいと思っています。本日はよろしくお願ひします。</p> <p>委員長議事進行</p> <p>1 報告事項</p> <p>① 平成 29 年度上川管内社会教育委員・公民館運営審議会委員等合同研修会（8/24、25 愛別町）</p> <p>稲毛委員長：私の方から報告します。愛別町で2日間開催され、1日目は基調講演で障がい者福祉関係の「愛別町での共生社会実現にむけての取り組み」と現地視察しました。北海道美深高等養護学校あいべつ校を見学。地域と連携した学習活動を展開しているそうです。障害者支援施設では実際の作業現場やパン販売など見学。2日目は分科会で「社会教育施設の在り方と社会教育委員のかかわり」をテーマに6グループに分かれ、全国大会の運営を想定して課題などを話し合いました。</p>		

内 容

② 第 59 回全国社会教育委員研究大会北海道大会(9/12、13 札幌市)

稲毛委員長：報告事項②について、福本委員報告をお願いします。

福本委員：初日に稲毛委員長が全国表彰 65 名の 1 人として 24 年間の功績に対して表彰されました。大会は記念講演で赤平市でロケット開発の植松社長が夢があればなんでもできると講演しました。子供たちに自分の夢ややりたいことをどう実現していくかを探してほしいと語っていました。次にパネルディスカッションが行われ、若い母親が 3 歳児をアプリで育児と衝撃的な事例発表もありました。

9 月 13 日は分科会が開催され、上富良野からの出席者は上川管内が担当する第 5 分科会「社会教育施設の在り方と社会教育委員のかかわり」に参加しました。民間の発想を取り入れた新しい発想をする時期に来たのではないかと、読み聞かせに音楽をいれている、ブックスタートから高校まで年 1 回のプレゼントで読書環境を整えるなど地域の発表がありました。町づくりは人づくりであり魅力ある人材育成に必要である、委員の仕事は場を作る、そこに立ち会う、見届ける、次の世代に引き継ぐなどの意見が出され終了しました。

稲毛委員長：ここまでで質問等ありませんか。

(各委員特に無し)

③ 平成 29 年度社会教育関係事業実施報告(7~10 月分)、社会教育施設整備の実施報告について

北川主査説明：3~5 頁の社会教育関係事業実績について、前回 7 月 18 日開催第 2 回社会教育委員会兼公民館運営審議会委員会議以後、終了している事業及び今後開催予定の事業について報告説明。6 頁の社会教育施設整備の実施報告について説明。

稲毛委員長：質問等ありませんか。

(各委員特に無し)

2 協議事項

① 研修会について

課題対応型学習活性化セミナー(道北会場)兼平成 29 年度上川管内社会教育主事等研修会兼上川管内社会教育委員基礎講座(10/26 旭川市)

谷口主幹説明：(1)毎年、社会教育委員の基礎講座として実施していますが、今年度は社会教育主事会と合同で課題対応型学習活性化セミナーを実施します。日程を合わせていただいで出席をご検討いただければと考えております。

3 第 8 次社会教育中期計画について

谷口主幹説明：検証・評価について別紙により部会に分かれて作業をして頂きます。第 1 部会…大集会室、第 2 部会…学習室、第 3 部会…小集会室

稲毛委員長：それでは各部会長より報告をお願いします。

第 1 部会小山田副部会長：2 頁①夏休みラジオ体操については、子供たちが参加することで地域の活性化につながるということで継続。カードと一緒に生活リズムチェックシートも配布していますが、保護者へ啓発の意味もあるので継

内 容

続。ただ集計し検証をしていないので上富良野の子供の実態を把握するなど活用できるよう回収方法含め今後検討が必要。

4 頁①町民芸術劇場だけでなく学校に関わる社会教育事業について、英語学習時間増などにより時間割の調整が難しくなっており、学校のニーズも踏まえ学年で分けるなど芸術劇場のあり方を検討する時期に来たのではないかと。実行委員形式のため、話し合いの中で実施するという事で継続。

第2部会田端部会長:16 頁いしずえ大学連携の道民カレッジも消防の講座など大変好評であるとのことで継続。読書コンクールは西小と高校が応募し継続させたいし、この後の審査員の協力も出ていました。34 頁図書館まつりは日程が重複してもイベントの工夫で来場者が増えているので継続していきたい。26 頁白いうた青いうたフェスティバルは10年頑張るとのことで始めて今年10年目だがよい企画なので実行委員も若返りを考え継続してほしい。30 頁文化団体交流会は村民の前で披露してよかったので継続。32 頁町文化財の維持管理は東中尋常高等小学校御真影放置所修復が終了しました。以上です。

第3部会塚澤部会長:20 頁のアクアキッズフェスで水の事故防止でスタッフ確保が出来ているか、スポーツ推進員も減少していることから付き添いの保護者にも手伝ってもらおうなど検討。世代間交流ゲートボールは人気下火だがニーズがあるので継続。町民歩こう会は高齢者と小学生の参加あり中間層の参加がないがコースは紅葉が良かった、紅葉祭りがずれて同日だったので道路や温泉が混雑したので時期を検討。22 頁水泳教室等は子供が水に慣れ親しむ機会なので継続。ただ技能検定や記録会の参加者減については親子の関心が薄くなった、他のスポーツ掛け持ちが影響しているなどあるが子供がスポーツに親しむのは健全育成につながる所以で継続。スポーツ推進員が20人から15人へ減少して種目別に割り当てても予定人数が集まらなくなっている。さわやかラジオ体操は健康作りに役に立っているので続けてほしい。38 頁施設利用は屋根塗装など設備補修や大会などあり増えているようです。以上です。

稲毛委員長:部会報告がありました。質問等ありませんか。

(各委員特に無し)

4 その他

次回会議の日程

谷口主幹説明:社教連会報No.81 を配布します。また富良野舞台塾公演「二人の天使」チラシを配布いたしますので11月10日ぜひご来場ください。

和田委員:民族歌舞団こぶし座公演は上富良野で2回公演し好評でした。11月23日2時から行いますので皆さん見に来てください。

田端委員:上富良野高校では十勝岳ジオパーク認定に貢献と郷土愛、環境保全の学習、特色ある学習の一つとして推進協議会と連携してジオパーク学習を始め、先週、函館教育大学で開催の北海道環境学習フェア2017に参加した資料です。認定にならなかった理由の一つ、美瑛町との連携について上富良野高校は美瑛高校と共同して進めていく情報提供でした。

内 容

北川主査：次回会議を11月下旬から12月上旬に予定し日程調整後にご案内します。

稲毛委員長：最後に質問等ありませんか。

(各委員特に無し)

仲島副部長挨拶：長時間の会議お疲れ様でした。なかよしサミットで今年うれしかった事、高校生の司会進行が良かった。人前で話すのが苦手だが今日は勉強したいという生徒が分科会で頑張って発言してすばらしかった。また成人式でバスケットを教えていた子が声をかけてくれた。大人になって戻ってきてうれしかった。目標に向け頑張っているのを社会教育委員として応援していきたい。本日はお疲れ様でした。